

シンポジウム

「日本文化における「見立て」の諸相」

開催のお知らせ

日時：7月21日（月）

プログラム

14:00 - 15:00（質疑応答を含む）

ボナヴェントゥーラ・ルペルティ（ヴェネツィア大学教授）

「中世から近世へ—謡曲『蝉丸』から近松門左衛門の『蝉丸』へ・見立て、やつしの問題」

15:00 - 16:00（質疑応答を含む）

チャールズ・井上（タフツ大学教授）

“Nuclear Mitate in Miyazaki Hayao's *Totoro*.” 「宮崎駿の『トトロ』における核の見立て」

16:00 - 16:15 休憩

16:15 - 17:15（質疑応答を含む）

福長 進（神戸大学教授）

「『源氏物語』の準拠と「見立て」」

17:15-17:45 全体討議

Prof. Bonaventura Ruperti

ヴェネツィア大学アジア・北アフリカ研究所副研究科長・教授であるルペルティ氏は、日本文学、伝統芸能の専門家です。近世文学だけでなく、日本演劇・近世演劇（浄瑠璃・能・歌舞伎）にも通暁しており、イタリアと日本の比較演劇論でも知られています。

主な著作として、“Le immagini di Genji (Genjje) in epoca Tokugawa: un mito rivissuto e trasformato,” *Splendori dal Giappone, Le storie del principe Genji nella tradizione Edo e nelle incisioni di Miyayama Hiroaki*, Padova, CLEUP Padova, pp. 63-71. など。

Prof. Charles Inouye

タフツ大学芸術・科学学部教授である井上氏は、前近代および近代日本文学の専門家です。その中でも特に、近代意識の発展、形象性、現実主義、叙情主義、アニミズムなどに関心を寄せて、研究を進められています。

主な著作として、“Unburying Figurality: Japan's Contribution to the Globalgothic,” in Glennis Byron, ed., *Globalgothic* (University of Manchester Press, 2012), “Japanese Gothic,” in David Punter, ed., *New Companion to the Gothic* (Blackwell Press, 2012) など。

場所：神戸大学人文学研究科

A棟1階 学生ホール

お問い合わせ

s_fukunaga1192@yahoo.co.jp

福長進（人文学研究科 教授）